

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)を活用した事業実施状況

資料2

No	事業名	目的	事業概要	総事業費 (円)	実績額 (円)	重要業績評価指標(KPI)			事業効果	今後の方針	担当課
						目標値	目標年月	実績値			
1	匠瑳市総合戦略策定事業	本市の地域産業と観光資源を活かした、良質な雇用の創出と人口還流の加速による地域の活性化を図る「匠瑳市総合戦略」を策定するために、必要な専門的な調査等を実施する。	専門的調査の実施経費 ・住民を対象とした意識調査の実施経費 ・匠瑳市の地区単位での地域特性の情報収集・分析事業 総合戦略案に関する意見集約に関する事業経費 ・外部有識者を含む総合戦略検討会の運営費 ・住民との意見交換会の運営費	8,282,000	7,322,923				産官学金労で構成する組織(匠瑳市まち・ひと・しごと創生市民会議)を設置したことにより、本戦略や各種施策の検証体制が充実した。	当面は本戦略の推進と進行管理に努める。	企画課
2	乳幼児健康診査事業	保健センターにて乳幼児健康診査事業を実施し、身体・視覚・聴覚・発達などの異常を早期発見するとともに、育児・栄養・心理発達相談を行い育児支援する。当該施設の充実を図ることにより、事業参加者に対し快適な環境を提供する。これにより、受診率の向上に結び付くことが期待できる。	乳幼児健康診査事業の一環として、施設の充実のため、保健センター内にある洋式便座を暖房洗浄便座に改修し、おむつ交換台とベビーチェアを設置する。	1,689,000	980,000	健診受診率等(状況把握を含む) 100%	H28.3	健診受診率 4か月児健診: 96.9% 1歳6か月児健診: 97.1% 3歳児一般健診: 95% ※状況把握を含むと100%。	乳幼児健康診査等時に親子で安心して、トイレの利用が可能となった。	本施設改修事業としては完了。	健康管理課
3	〃	保健センターにて乳幼児健康診査事業を実施し、身体・視覚・聴覚・発達などの異常を早期発見するとともに、育児・栄養・心理発達相談を行い育児支援する。当該施設の充実を図ることにより、事業参加者に対し快適な環境を提供する。これにより、受診率の向上に結び付くことが期待できる。	4か月児健診・1歳6か月児健診・3歳児健診の実施に必要な、市医の報酬・小児科医師の報償費・精密検査委託料及び事務経費等。	1,730,000	1,567,356	健診受診率等(状況把握を含む) 100%	H28.3	健診受診率 4か月児健診: 96.9% 1歳6か月児健診: 97.1% 3歳児一般健診: 95% ※状況把握を含むと100%。	高い受診率を得ることが出来た。状況把握を含めると100%把握出来ている。	今後も受診率100%を目指し、継続して事業を実施。	健康管理課
4	チャイルドシート助成事業	子どもの安全及び保護者の経済的負担の軽減を図り、子育て支援を推進する。	当該年度に出生した乳児に対し1人1台に限り10,000円を助成する。	2,424,000	788,904	目標申請数 240件	H28.3	79件	乳児の保護者にチャイルドシートの重要性を再認識してもらえたが、兄・姉の使用したチャイルドシートで対応する保護者も多く、申請数が伸びない。	申請件数により、今後検討。平成28年度は実施。	健康管理課
5	定住促進空き家バンク事業	空き家の有効活用を通じて、移住及び定住の促進による地域の活性化を図る。	空き家バンク物件登録者と利用登録者の間で登録物件の売買又は賃貸借の契約が成立した場合、当該物件登録者に対し、登録物件成約助成金を交付する。助成金は、登録物件1件につき1回限り、5万円。	280,000	100,000	新規物件成約数 5件	H28.3	2件	登録物件の増加を図るために登録物件成約助成金を設けたが、思うように物件数が伸びなかった。	登録物件成約助成金に係る周知が不足していたと考えられるため、平成28年度固定資産税納税通知書に本助成金制度を新設した旨を記載したリーフレットを同封する等、周知方法を充実させ、引き続き登録物件の増加を図る。	企画課
6	子ども医療費助成事業	子ども医療費に係る経済的負担の軽減を図ることにより、小児疾病の早期発見、早期治療を促進し、子どもの健康の保持及び健全育成を図る。	0歳から中学校3年生までの入院・通院の医療費を自己負担なし・所得制限なしで助成する。	130,495,000	39,738,817	助成率100%	H28.3	助成率100%	保護者の経済的負担の軽減が図れた。	事業継続、当面事業内容変更なし。	健康管理課